



2023年9月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年2月14日

上場会社名 リビン・テクノロジー株式会社
コード番号 4445 URL <https://www.lvn.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川合 大無

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部部长 (氏名) 金木 宏之

TEL 03-5847-8556

四半期報告書提出予定日 2023年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第1四半期の業績(2022年10月1日～2022年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第1四半期	668	4.8	80	18.4	81	18.0	50	18.4
2022年9月期第1四半期	702	6.3	98	421.1	99	397.7	62	424.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第1四半期	37.72	37.67
2022年9月期第1四半期	46.26	46.06

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第1四半期	1,805	1,195	65.6
2022年9月期	2,008	1,143	56.4

(参考)自己資本 2023年9月期第1四半期 1,184百万円 2022年9月期 1,133百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期		0.00		0.00	0.00
2023年9月期					
2023年9月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年9月期の業績予想(2022年10月1日～2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,500	15.5	500	31.7	500	31.4	272	15.5	202.46

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年9月期1Q	1,343,488 株	2022年9月期	1,343,488 株
期末自己株式数	2023年9月期1Q	22 株	2022年9月期	22 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年9月期1Q	1,343,466 株	2022年9月期1Q	1,342,222 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料「1.(3)業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第1四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5
(会計方針の変更)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限や海外渡航制限の緩和等、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、国内の経済活動は一定の回復傾向にあるものの、新型コロナウイルス感染症の再拡大、原材料・原油価格等の高騰、急激な円安の影響に伴う物価の上昇が続いており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社を取り巻くインターネット広告市場においては、AIを活用した広告運用手法、通信環境の進展、デバイスの拡張などを背景に、引き続き順調な成長が見込まれております。

このような状況のもと、当社は、2023年9月期を「継続チャレンジフェーズ」として組織体制を一新し、5つの重点施策に全力で取り組む年度と位置づけ、株主の皆様のご期待に応えるべく企業価値の向上に取り組んでおります。具体的な取り組みとして主なものは以下のとおりです。

- ・当社の主力サービスである『リビンマッチ』が3年連続全国認知度・今後利用したい不動産売却査定サイトNo.1となりました。
- ・新サービスである『メタ住宅展示場』のモデルルーム掲載数が100棟を突破しました。
- ・『ぬりマッチ』サービスにおいて外壁塗装のフランチャイズを展開するPLジャパン株式会社と業務提携を締結しました。
- ・事業拡大のためインサイドセールス部門を新設し人形町に『本社第2オフィス』を開設しました。

この結果、当第1四半期累計期間の経営成績は、営業収益668,711千円（前年同期比4.8%減）、営業利益80,717千円（前年同期比18.4%減）、経常利益81,393千円（前年同期比18.0%減）、四半期純利益50,677千円（前年同期比18.4%減）となりました。

なお、当社は、不動産プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における総資産は1,805,646千円となり、前事業年度末と比較して202,790千円減少いたしました。これは主に、有形固定資産が3,030千円増加した一方で、現金及び預金が144,336千円及び売掛金が56,962千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債は610,218千円となり、前事業年度末と比較して254,968千円減少いたしました。これは主に、未払金が114,146千円及び未払法人税等が101,508千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は1,195,428千円となり、前事業年度末と比較して52,177千円増加いたしました。これは主に、四半期純利益を50,677千円計上したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想に関しましては、2022年11月14日の「2022年9月期 決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,279,834	1,135,498
売掛金	488,497	432,356
その他	94,563	87,193
貸倒引当金	△8,586	△7,384
流動資産合計	1,854,308	1,647,664
固定資産		
有形固定資産	8,272	11,303
無形固定資産	8,928	8,654
投資その他の資産		
その他	138,429	139,526
貸倒引当金	△1,501	△1,501
投資その他の資産合計	136,928	138,024
固定資産合計	154,128	157,982
資産合計	2,008,437	1,805,646
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,925	3,696
1年内返済予定の長期借入金	150,842	140,840
未払金	273,041	158,895
未払法人税等	135,528	34,020
賞与引当金	-	22,785
その他	154,744	130,555
流動負債合計	719,082	490,791
固定負債		
長期借入金	146,104	119,427
固定負債合計	146,104	119,427
負債合計	865,186	610,218
純資産の部		
株主資本		
資本金	194,260	194,260
資本剰余金	163,260	163,260
利益剰余金	776,213	826,891
自己株式	△103	△103
株主資本合計	1,133,631	1,184,308
新株予約権	9,619	11,119
純資産合計	1,143,251	1,195,428
負債純資産合計	2,008,437	1,805,646

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
営業収益	702,784	668,711
営業費用	603,872	587,994
営業利益	98,912	80,717
営業外収益		
受取利息	164	—
雑収入	555	555
その他	49	352
営業外収益合計	769	908
営業外費用		
支払利息	374	232
営業外費用合計	374	232
経常利益	99,307	81,393
税引前四半期純利益	99,307	81,393
法人税等	37,217	30,716
四半期純利益	62,090	50,677

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。

なお、当該会計基準適用指針の適用が四半期財務諸表に与える影響はありません。